

第430回和漢研セミナー

講演者 畠中 史幸 博士

Altos Labs Inc. (San Diego) 研究員

演題 *In vivo* application of CRISPR/Cas9-based technology

近年、CRISPR/Cas9を用いたゲノム編集技術は、次世代遺伝子治療の実用化に向けて急速に進歩している。我々はこのシステムを応用し、*in vivo*において、様々な病態モデルマウスにおける有効性を検討してきた。本セミナーでは、新たな治療の確立に向けたCRISPR/Cas9ゲノム編集技術の可能性を紹介する。

主要論文リスト

Cell, 137(7): 1235-1246, 2009

Mol. Cell. Biol., 30: 5636-48, 2010.

PLoS Biology, 12(4): e1001839, 2014.

Cell, 167(7):1719-1733, 2016

Cell, 171(7):1495-1507, 2017

* 畠中博士は本学の卒業生です。和漢研に修士課程まで在籍し生薬研究をされていました。その後企業への就職を経て、京都大学博士課程に進学され、広島大学医学部 (助教)、理化学研究所、Salk研究所で研究を進めてこられました。そして今年からは、細胞の若返りを医療に生かすことを目標に設立された注目の企業、Altos Labsに移られました。研究のお話だけでなく、これまでのキャリア選択・開拓に関するご経験もざっくばらんにお話しくださいますので、学生の皆様もぜひ奮ってご参加下さい。

日時: 2022年9月13日(火) 14時00分 ~ 15時30分

場所: 薬学部新棟セミナー室 8 (杉谷キャンパス)

主催 : 和漢医薬学総合研究所

連絡先: 神経機能学領域 東田千尋(076-434-7646)